

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) ローム・ワコー株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒714-8585 岡山県笠岡市富岡100番地
----	----------------------------	----	---

本票作成	部署名： 部署名： 管理部環境管理G
------	--------------------

主たる業種	分類コード	28	業種名： 電子部品・デバイス・電子回路製造業
-------	-------	----	------------------------

事業の概要	LSI, ダイオード、発光ダイオード、及び半導体レーザーの製造
-------	---------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	第二工場	岡山県笠岡市富岡55番地
	②	第一工場	岡山県笠岡市富岡100番地
	③	管理棟	岡山県笠岡市富岡100番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(令和2年度)	(令和3)年度排出量	目標年度(令和7年度)
	42,584 t CO <sub>2</sub>	56,998 t CO <sub>2</sub>	42,159 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和3)年度排出量
	①	第二工場	53,536 t CO <sub>2</sub>
	②	第一工場	3,337 t CO <sub>2</sub>
	③	管理棟	125 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 令和3年度 ~ 令和7年度 (5箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準 (3)年度削減実績 目標削減率 目標達成 <input type="checkbox"/> 原単位基準 Δ 33.8 % 1.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和3年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

昨今の半導体不足に起因する生産量増加に加えて、契約電力会社の変更(第一工場・第二工場対象)でCO<sub>2</sub>換算係数が高くなったことにより2021年度は排出量が3割程度増加する結果となった。ただし、今年度以降の生産量の落ち着き、省エネ設備の更新、契約電力会社の再選定、再エネ導入の検討等複合的な施策を実施することで目標年度の数値を達成できる見込み。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
- ・環境保全対策委員会(責任者：管理部 環境管理G グループリーダー)を毎月開催し、社内全部門の環境
- ・目標及び結果をフォロー
- ・グループ企業全体でのPFCガス由来のCO2削減運動

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
第二工場	<p>(令和3年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネポンプ化 (22t-CO2/年)</li> <li>変圧器交換 (12t-CO2/年)</li> <li>ポンプ新型化 (11t-CO2/年)</li> <li>ペルチェチラー化 (18t-CO2/年)</li> <li>スパッタ、コンプレッサー更新 (20t-CO2/年)</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産設備の効率化・製造条件の見直し: (91 t-CO2/年)</li> <li>・再生可能エネルギーの導入: (3627t-CO2/年)</li> <li>・冷却設備運用改善(冷凍機の負荷軽減対策): (364 t-CO2/年)</li> <li>・アモルファス・トランスの導入: (46 t-CO2/年)</li> <li>・インバーターボ冷凍機の導入: (318.39 t-CO2/年)</li> <li>・コンプレッサーの効率運用: (114 t-CO2/年)</li> <li>・水素発生装置の運転最適化: (273 t-CO2/年)</li> <li>・高効率ファン・低圧損充填剤を使用したスクラバーユニットの導入: (91t-CO2/年)</li> <li>・排出係数の小さな電気事業者の利用: (4416t-CO2/年)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動の実施、ライトダウンキャンペーンへの参加